



Are you ready?

南中図書館だより

冬休み直前号

とうとう雪の季節がやってきました。

街中には華やかなクリスマスツリー・色とりどりのイルミネーション・それを包み込むように降る白い雪。雪の情景はとてもロマンチックですが、外へ出るのも大変な雪は困りものです。

どうか今年は大雪になりませんように!

さて、先日の「思春期教室」での質疑応答の中で、「いい質問だなあ」と思ったものがありました。

「生理のつらさを、男子の痛みに例えるとなんですか？」

女子と同じ経験をすることはできないけれど、「もし自分だったら・・・」と想像してみる。

他人の大変さを理解・共感して、そのうえで、その人の立場に立って考える。

”共感力”=「エンパシー (empathy) のスキル」を、南中のみなさんはちゃんと持っていますね。

とてもすばらしいことだと思いました。



これから迎える新しい一年の、「心の支え」となりますように!

先人たちからみなさんへ・・・「言葉の贈りもの」です。



『世界の名言 大事典
英語でふれる77人のことば』

「I have a dream.」 ”私には、夢がある”

アメリカの公民権運動の指導者、キング牧師の有名な言葉です。

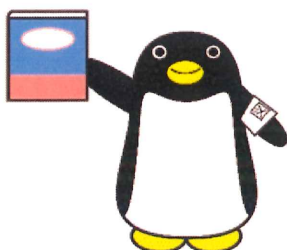
夢をあきらめることは簡単ですが、どんな夢であろうと、持ち続けていればいつか叶う。 キング牧師からのメッセージです。

「Yes, we can.」 ”われわれにはできる、必ずできる。”

アメリカ合衆国第44代大統領オバマ氏が、選挙勝利演説で言った言葉です。

「チェンジ」を合言葉に、アフリカ系アメリカ人として初めて大統領に選ばれたオバマ氏の、強い意志を感じます。

図書館には、いろいろな本がありますよ。
あなたの「支え」になる言葉たちを
探してみてくださいね!





図書館だより de

Bibliobattle

ビブリオバトル!

この本を、
「推し」ます!

第5回(11月)も参加してくれてありがとう! 第5回の得票総数は112票でした。



このうち、接戦を制して「第5回チャンプ本」に選ばれたのは、4割強の29票を獲得した、『えんとつ町のプペル』でした。



今年最後の「推し本」は、こちらの6冊です。
みなさんの投票を、お待ちしております!



A

「私の推し本は、『あと少し、もう少し』です。
この本は陸上部の話で、中学最後の駅伝大会に向けてメンバーを募り、練習し、県大会への出場を目指してタスキをつなぐ物語です。
ぜひ、読んでみて下さい。」 (3年生)



書名: 『あと少し、もう少し』
作者名: 瀬尾 まいこ

B

「この本は、生贄(いけにえ)を求める霧の城に主人公のイコが生贄として行くという話です。
不思議な感じのする本で、読んでみると続きが気になります。最後のほうは特にオススメなので、ぜひ最後まで読んでみて下さい。」 (2年生)



書名: 『ICO 霧の城』
作者名: 宮部 みゆき

C

「主人公の涼太は、13歳の誕生日に父親の趣味のロードバイクを買ってもらいました。
父親の一方的なやり方に反発を覚えつつも、涼太は勢いでレースに出ることになります。
いい本なので読んでみて下さい。」 (3年生)



書名: 『風の子 ヒルクライム』
作者名: 加部 鈴子

D

「唯一の肉親の祖母を亡くして、心にポカンと穴が開いてしまった主人公のみかげが、祖母と仲の良かった雄一や、雄一の母(父)のえり子さんと出会い、心の穴をゆっくりと縫っていく。心温まる感動の物語!!」 (2年生)



書名: 『キッチン』
作者名: 吉本 ばなな

E

「この本は、日常で使われている、家具など大きい物から、文房具などの小物まで、小人(にびと)目線で分かりやすく紹介してくれます。
イラストも可愛らしく、ページをめくる手が止まりません。ぜひ読んでみて下さい。」 (1年生)



書名: 『こんなふうには作られる!』
作者名: ビル&ジム・ステイヴイン

F

「この本は、子どもが知恵をふりしぼって大人に戦いをいどむというお話です。
見どころは子どもたちの作戦です。
とてもユニークで驚かされるものばかりなので、みなさんもぜひ読んでみて下さい。」 (1年生)



書名: 『ぼくらの七日間戦争』
作者名: 宗田 理